

1 事業概要

事業名	ふるさと林道緊急整備事業 二鹿・川越線
事業場所	岩国市二鹿～岩国市周東町瀬越
事業主体	山口県
事業期間	平成 15 年度 ～ 平成 27 年度 (西暦 2003 年度 ～ 西暦 2015 年度)
総事業費	2,160 百万円
事業目的	本路線は、森林の適切な整備、森林施業の効率化、林業生産性の向上を図るとともに、集落間及び公道への連絡等地域交通を改善するため、岩国市二鹿から岩国市周東町川越地域における基幹的な林道として整備をしたものである。
事業内容	林道開設 幅員 5.0m 延長 7.4km

2 事後評価の視点

(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
【費用対効果分析】	
区 分	事業採択時 <u>計画変更時</u> 再評価時
評価基準年	平成21年度
事業費	2,300 百万円
工期	H15年度 ～ H27年度
費用対便益比	B/C= 1.14
【要因変化の分析】	
<ul style="list-style-type: none"> 事業費は、140百万円の減額となった。 	
(2) 事業の効果の発現状況	
【事業の効果の発現状況】	
<ul style="list-style-type: none"> 林道の開通により、原木市場（岩国木材センター）までの輸送ルートの確保及び大幅な輸送時間の短縮が図られるとともに10t級のトラックの通行が可能となるなど、木材の輸送力が大きく向上した。 基幹となる道が完成したことにより、人工林が多く伐採時期を迎えたヒノキを中心とした区域で作業道の整備が進み、間伐材を利用する「搬出間伐」の取組が進展、森林所有者の意欲の高まりとともに森林施業が進んでいる。 岩国市二鹿地域（旧岩国市）と岩国市周東町川越地域（旧周東町）が最短経路で連絡し、生活道としての利用や県道等の緊急時の迂回路としての利用が可能となっている。 林道の管理は、県から地元岩国市へ全て移管され、適切に維持管理されている。 	
【事業の効果の発現状況に対する評価】	
<ul style="list-style-type: none"> 林道を整備することにより適切な森林整備が行われ、水源のかん養など森林の持つ公益的機能の持続的発揮に寄与している。 集落間や地域間を連絡することで地域交通が改善されたことから、地域振興に寄与している。 	

(3) 事業実施による環境の変化

【変化の状況】

- ① 自然環境への影響
 - ・野生動植物の生育・生育環境の悪化、溪流における流量の減少などの影響は見受けられない。

- ② 生活・住環境等への影響
 - ・岩国市二鹿地域（旧岩国市）と岩国市周東町川越地域（旧周東町）を連絡する幹線道路として、中山間地域の生活利便性の向上に寄与している。

- ③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）
 - ・切土、盛土部の法面は、速やかに緑化を行い、法面の安定及び良好な景観を確保している。

(4) 社会経済情勢の変化

【変化の状況】

- ① 社会経済状況及び事業環境等の変化
 - ・本林道の整備による木材輸送力が強化されたことで、切り捨てていた間伐材の搬出、利用が可能となり、地域の森林施業が一層進むとともに、中山間地域の居住環境の改善に寄与している。
 - ・当地域の森林整備等の中心的担い手となる森林組合（「錦川森林組合」,「県東部森林組合」）が、平成30年6月1日に合併、「山口県東部森林組合」として組織、経営強化され、森林資源の循環利用等一層促進されることが期待されている。

- ② 関連計画・関連事業の状況の変化
 - ・関連計画、関連事業ともになし。

(5) 今後の事後評価の必要性

なし

(6) 改善措置の必要性

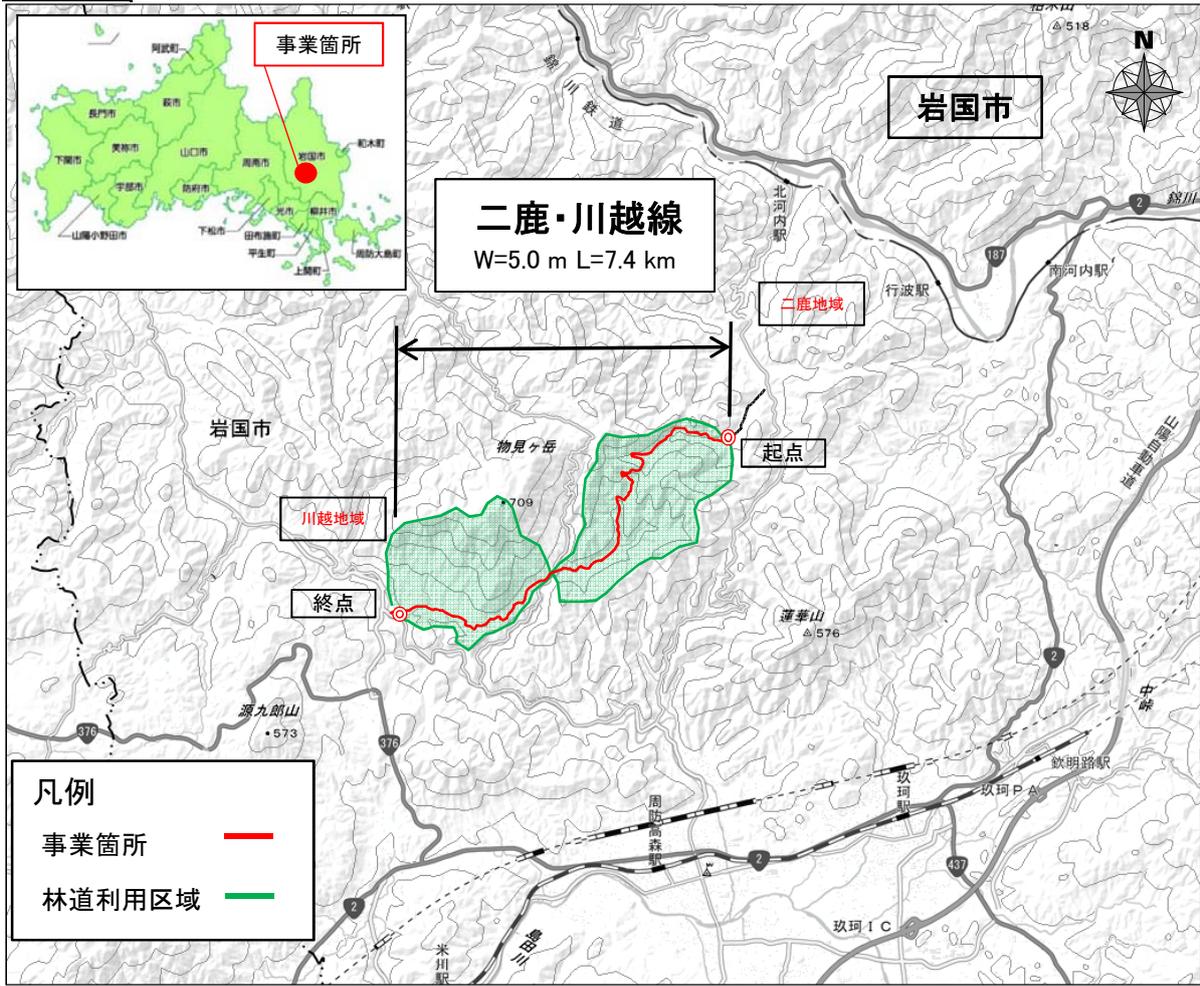
なし

(7) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

なし

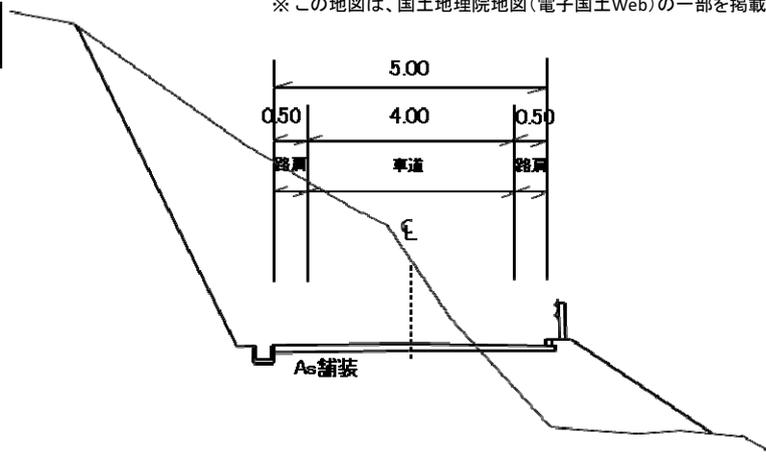
林道 二鹿・川越線

平面図



※この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真

